

医療健康

腰部脊柱管狭窄症治療の実力病院 (2015年4月～16年3月に「手術あり」が150例以上)

医療機関名	所在地	診療実績		運営体制	施設体制
		手術あり	手術なし		
えいわ病院	北海道	426	24	72*	○
北海道整形外科記念病院	北海道	291	67	72*	○
函館中央病院	北海道	222	115	72*	○ 2
麻生整形外科病院	北海道	153	83	76*	○ 2
東北中央病院	山形県	249	176	71	○ 2
福島県立医大津医療センター病院	福島県	161	156	71	○ 2
宇都宮記念病院	栃木県	151	33*	73*	○
慶友整形外科病院	群馬県	470	38	63	○
済生会川口総合病院	埼玉県	369	119	73	○ 1・2
船橋整形外科病院	千葉県	223	17	73	○
千葉労災病院	千葉県	197	207	73*	○
岩井整形外科内科病院	東京都	518	33	73*	○ 1
九段坂病院	東京都	363	341	73*	○
日本赤十字社医療センター	東京都	261	10	73*	○ 1・2
村山医療センター	東京都	248	396	69	○
国際医療福祉大三田病院	東京都	229	337	75	○ 1・2
武蔵野赤十字病院	東京都	183	63	75	○ 1・2
慶応大病院	東京都	157	171	75	○ 1・2
昭和和大病院	神奈川県	237	68	75	○ 1・2
湘南藤沢徳洲会病院	神奈川県	184	23*	66*	○
関東労災病院	神奈川県	174	222	76	○ 1
横浜南共済病院	神奈川県	156	182	76	○ 2
日本鋼管病院	神奈川県	151	42	76	○ 2
新潟中央病院	新潟県	239	12	76	○
亀田第一病院	新潟県	200	213	76	○
新潟市民病院	新潟県	165	26	69*	○ 1・2
沢田記念高岡整志会病院	富山県	495*	230	69	○
石川県済生会金沢病院	石川県	171	1*	70*	○ 2
賈川整形外科病院	山梨県	201	268	70*	○
静岡赤十字病院	静岡県	320	42	70*	○ 1
沼津市立病院	静岡県	162	164	70*	○ 2
はちや整形外科病院	愛知県	225	83	70*	○
名古屋第二赤十字病院	愛知県	206	320	74*	○ 1
中部労災病院	愛知県	184	185	72	○ 1
刈谷豊田総合病院	愛知県	154	184	79	○ 2
日野記念病院	滋賀県	188	11	73	○ 2
大阪病院	大阪府	270*	35	73	○ 2
関西医大総合医療センター	大阪府	268	446	73	○ 1
永広会島田病院	大阪府	243	1*	69	○
あんしん病院	兵庫県	235	1*	74*	○ 2
関西労災病院	兵庫県	152*	1*	74*	○
白庭病院	奈良県	170*	14	74*	○ 1
和歌山県立医大病院	和歌山県	183	14	78	○ 1
岡山医療センター	岡山県	188	172	77*	○ 1・2
広島市立安佐市民病院	広島県	405	20	73	○ 2
広島総合病院	広島県	267	14	71	○ 1
福山医療センター	広島県	169	191	71	○ 2
高松赤十字病院	香川県	156	118	70*	○ 2
総合せき指センター	福岡県	265	134	70*	○
九州医療センター	福岡県	211	27	75*	○ 2
久留米大病院	福岡県	155*	67	71	○ 1
長崎労災病院	長崎県	173	115	74*	○ 2
熊本中央病院	熊本県	170	1*	71	○ 2

※「画像診断管理加算1」=10年以上の画像診断の経験を持つ医師などが診断した場合、診療報酬を加算できる施設。「加算2」はCTやMRIなどが対象。

お断り 「向き合う」「こころの健康学」は休みました。

今回の調査で2015年4月～16年3月の「手術あり」症例が158件、全国最多だった岩井整形外科内科病院(東京・吉川)は、1999年の開設以来、腰や首、関節などの整形外科治療を中心に手術、特に内視鏡を使った身体負担が少ない手術に定評がある。種波診療部長(64)は「がんなどの疾患と違い、画像診断だけでは原因を特定できないことが多い。正確な診断しないと不必要な手術になりかねない」と強調する。

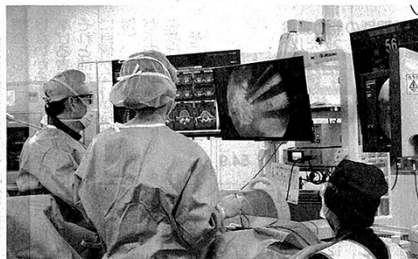
受診当日に検査
脊柱管は背骨、椎間板、関節、靭帯、肉芽、椎間板の神経が通るトンネルに当たる。椎間板や靭帯が加齢などの影響で厚くかたまり、腰の脊柱管が狭められる(1)とて神経を圧迫。実際の患者は腰周りが「脊柱管を圧迫する」(2)で、痛みがひどく、歩行が難しくなる。手術では靭帯の一部を切除したり、上下の骨を固定したりし、神経

腰部脊柱管狭窄症

足の痛みやしびれの原因となる腰部脊柱管狭窄(きょうさく)症は高齢者で多く、高齢化に伴い患者数が増えている。重症になると歩行や排尿に影響があり、患者の生活の質(QOL)に直結する。日本経済新聞社が実施した実力病院調査では手術で原因を取り除いたり、新しいタイプの薬を処方したりして、患者の負担軽減を目指す病院が近年並んだ。

日経実力病院調査

足の痛み やさしく治療

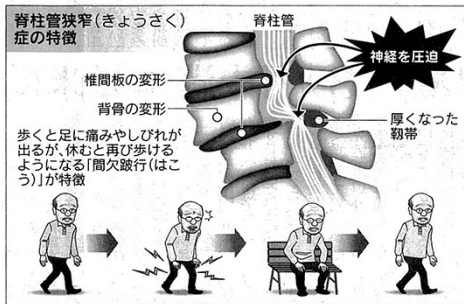


腰部脊柱管狭窄症では、内視鏡を使った傷口の小さい手術も普及する(岩井整形外科内科病院提供)

傷小さい手術／新薬で症状緩和

手術がかかるが、同院では主治医が原則、受診したその日に検査する。患者の生活に支障をきたさない。種波診療部長は「患者に痛み止めを処方し、症状が改善するのを確認してから正確な診断には不可欠」と指摘。この診断には

手間がかかるが、同院では主治医が原則、受診したその日に検査する。患者の生活に支障をきたさない。種波診療部長は「患者に痛み止めを処方し、症状が改善するのを確認してから正確な診断には不可欠」と指摘。この診断には



高齢者の1割に狭窄 症状はうち1割

和歌山県立医大などの調査によると、磁気共鳴画像装置(MRI)検査で脊柱管狭窄(きょうさく)が見つかる高齢者は約50%で、国内の推定有病者は約580万人に上ると、たまたまに症状があるのは、このうち1割にとどまった。最も特徴的な症状は、足の痛みやしびれで歩行が困難になる。休息時に前かがみの姿勢になると、神経の圧迫が緩和され、血行が回復し症状が緩和する。ため歩ける。一方、椎間板ヘルニアでは前かがみの姿勢が症状が悪化することが多い。治療は投薬や手術のほか鎮痛薬を注射するブロック療法や運動療法を併用することもある。

調査の概要

調査は①症例数(診療実績)②医療の質や患者サービス(運営体制)③医療従事者の配置や医療機器などの設備(施設体制)の3つの視点で、病院選びの際に参考となる情報を、日経リサーチに依頼してインターネット上の公開データから抽出して実施した。

石原助教は「高齢者で多い疾患のため身体的な負担軽減が重要だ」と強調する。

調査結果 厚生労働省が2017年2月に公開した15年4月～16年3月の退院患者数を症例数とした。対象は病名や手術方式で医療費を定額とするDPC制度を導入した1667病院のほか、導入準備中などを含め計3191病院。症例数の後の*は0～9例の誤差あり。「-」は0～9例。

出血量も激減
同センターは「手術の」

その一種の「脊髄側方」

医療・健康面の記事やコラムに関するご意見、情報を募集しています。ファクス(03・6256・2774)か電子メール(iryou@tokyo.nikkei.co.jp)でお寄せください。